

にじ

第1回 高知医療センター Web型電子カルテ 閲覧システム(「くじらネット」) 運営協議会 …… P2~P5

9

SEPTEMBER.2013 Vol.95

- マレーシア・サバ国立大学から留学生を迎えて …… P6
(栄養局 局長 渡邊 慶子)
- 2013年 高知医療センター・研修医キャンプ in 小豆島 …… P7
- 高知医療センター・イベント情報 …… P8



本院のドクターヘリ出動回数が先日、早くも1000回を超えました。

高知医療センターの理念

医療の主人公は患者さん

Web型電子カルテ閲覧システム(「くじらネット」)運営協議会



去る7月12日の午後6時半から、本院の11階「よさこいサロン」に於いて、第1回高知医療センターWeb型電子カルテ閲覧システム運営協議会(当日、次回からの「くじらネット」運営協議会への改称が決定されました)が開催されました。会では期待しておりましたように「くじらネット」を既にご利用いただいている先生方から、貴重なご指摘を数々いただきましたので、その様子をここに誌上再録とさせていただきます。是非、ご覧ください。

(文責：深田 順一)

深田 順一副院長 (本協議会 会長：ITセンター長)



皆様、お忙しいところ、そしてお疲れのところを、第一回の高知医療センターWeb型電子カルテ閲覧システム運営協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

今回のWebシステムによる電子カルテ閲覧サービス、私共これに「くじらネット」と名付けておりますのでそう呼ばせて頂きますが、これは本院としても非常に重要視をしている事業です。当初は費用の問題もあり、どうしようかと思っていたものですが、補助金制度があることが判り、また電子カルテ自体が新しくなって、そのような機能をもてるようになった事もあり、本院としてもこれからの地域医療連携推進の、ひとつの柱として前向きに進めようということで始めてきました。しかし、一年ちょっと経ちまして、現状はまだ手探り状態で、このシステムがもっている能力を我々が使いこなしているとは言えないのが現状でございます。本日、開催させていただきます協議会は当初から設置を予定していたもので、「くじらネット」をお使いいただいている先生方に委員としてご参加いただき、「くじらネット」を、よりよいものにしていくための協議の場と位置付けているものです。本日は、お使いいただいているお立場での、忌憚のないご意見やご要望をお聞かせ願えれば、と思っております。どうぞよろしく願いいたします。

山本 由美子先生

(本協議会委員：山本循環器内科・眼科 副院長)



山本循環器内科・眼科の山本です。使用感は、一言で言って遅いです。つながるのが大変。ですので、患者さんを目の前にして、というのはすごく大変で、患者さんには「見ておきますね」と言っておいたり、患者さんがくる前に見ておいて、お話す、といった感じで、リアルタイムではなかなか難しい

です。患者さんと見るとき、モニタに映すまでに非常に時間がかかるので、前もって用意しておかないといけない。

矢野 哲也先生 (委員：こうちクリニック胃腸科内科 院長)



画像は重いですから、仕方ないと思いますが、カルテはそれほど遅くない。それなりの遅さ、という感じですかね。私は、患者さんを診察しながら、という利用はしていません。

深田

やはり環境によって違いがあるんでしょうか。

町田 尚敬 ITセンター次長 (事務局)



あります。実際、診療所などに設定に行かせていただくと、最近購入されたパソコンでは、接続や画面展開は非常に速く、全くストレスがありません。

しかし、最初のころに設定をした施設は、我々も快適に使用していただくのに十分なスペック(注：パソコンの性能のこと)やネットワーク環境を把握できていませんでしたので、一枚の画像を開くのに非常に時間がかかる施設もあり、そのところが課題だと思っています。今後、閲覧スピードに問題のあるご施設については、再度、環境の整備をさせていただきたいと思っております。

深田

早い時期から興味をお持ちいただき、積極的に申し出ていただいた施設での使用が、むしろ遅いという事は大変申し訳ないことですので、急ぎ改善させていただきます。

山本

それから患者さんで、医療センターの画像を高知大学で見られないんですか？と聞かれたことがありますが、高知大学のお医者さんはどうなっているんでしょうか？大学の先生で登録していらっしゃる先生はいますか？

北村 和之主事（事務局：ITセンター）



今のところないです。大学の先生でも、へき地に行かれる方で、行かれた先で見られている方はありますが、高知大学附属病院でのご利用の申請はありません。大学の場合はサイネットというのを使用していて、ネットワークを介して接続するというのは、技術的には可能です。

矢野

患者さんによっては「くじらネット」でカルテ閲覧をしたい、と思った段階で既に医療センターに入院中であって、こちらで患者同意書を書いてもらうことができない患者さんがおられる。そういった場合に、その患者さんがこちらがかりつけで、かつ、こちらが「くじらネット」利用医を済ませておれば、患者さんからの同意書取得は医療センター側で行ってもらうことはできないのですか？

深田

その件ですが、実は今日もお一人の患者さんについて、市内の某病院から、こちらでの入院中のカルテがぜひ見たいという問い合わせが地域医療連携室経由できました。このケースは、今、矢野先生が挙げられた条件（当該患者さんがこちらに入院中で、ご連絡いただいた先生が既に利用医であり、システムの設定も完了していたこと）を満たしていましたので、本院の現在の担当医に、ご要望のあった旨を私から連絡し、閲覧を始めて頂くようにいたしました。ですので、まずは本院地域医療連携室におっしゃっていただければ、と思います。このあたり、もっと広報していかないといけないですね。

矢野

登録しているのに見ていない方について、パスワード・IDを忘れてしまっていて、めんどくさくなっている方もいらっしゃるかなと思うのですが、時々そういったところには訪問するのも大事かと。

西岡 豊先生（本協議会 副会長：地域医療センター長）



矢野先生が言われた意見が非常にそうではないかと思えます。ログインするのにID・パスワードが要するのに、一回もやっていると忘れますよね、地連の方にもそういう問い合わせがあるそうなんです。積極的に問い合



わせてくれる方はいいんですが、そうでない方もいるので、一応そういったところに再確認が必要ではないでしょうか。

深田

なるほど。私自身、これはこれまで考えていなかった可能性でした。ご指摘、ありがとうございます。では、次にご利用いただいたの感想についてもお話しさせていただきたいのですが、ひとつは山本先生が高知新聞の記事でもお話になっているように、カルテ内容を見て頂くことでの情報伝達の速さですね、これはまずあると思います。私は加えて、例えば特定の診療科の医師が院外の先生方に患者さんを紹介する時、そのサマリーが、受け取る先生方が欲しい情報と、必ずしも一致しない、すれちがいがあろうのではないかと、立場が違う人だと観点が違いますので。そのズレがカルテ全体を見て頂ける「くじらネット」を使うことで補えるかなと思っているんですが、先生方、いかがでしょうか？

沖 義一先生（委員：高知県歯科医師会理事）



歯科の場合、歯科の登録医が180名いますが、口腔外科との連携となると、歯科のカルテは特殊であり、医療センターの電子カルテがそれに対応できているのかが気になるところです。

久 直史先生（副会長：高知市医師会情報担当理事 / 函南病院院長）

当院では、緩和の患者の受け入れを行っていますが、術後の抗がん剤や放射線治療の記録が、緩和ケア時のがん患者のフォローとして有用であると感じています。



沖

歯科医師会は、がん患者に対する医科歯科連携に取り組んでいますが、久委員の話をお聞きして、歯科との連携として歯科のカルテよりは医科のカルテの確認ができれば有用であると感じました。歯科としては重要な事だと思います。

矢野

僕はサマリは見えていない、日々の経過についての部分を直接見っていますが、それだけで十分です。

西岡

特にICなど、患者さんへの説明内容などに関して、内科系の先生はきちっと書かれているが、外科とか忙しいところはICに対しての記載も少ないので、もっとあったら先生方が見やすいんじゃないか、といった反省はあります。

岡林 久子主任看護部長

（看護局長代理出席：地域医療連携室 室長）



手術を本院で受けた患者さんの逆紹介の場合にも、術前術後の診療内容や状態等の記録やデータ、画像が見えますが、これを「くじらネット」で見えてきたとき、やっぱり便利だなと思いました。ところで、矢野先生は忙しい中、「くじらネット」

を利用されていますが、患者さんに同意書の説明をする時などの工夫というのは、どのようにされていますか？

矢野

システム自体については「インターネットを通して、医療センターでの治療とか、経過を見ることができるので」と簡単に説明し、同意書を渡し、詳しくは読んでくださいと勧めています。多くの方がそれで納得していただいています、断られたことはないです。

服部 暁昌局長（委員：薬剤局長）

「くじらネット」でカルテのどこの部分が見られているかというデータでは、薬歴の閲覧が非常に少ないですね。薬剤については、皆さん、こういったものが見たいのか、また、閲覧方法に問題があるのでしょうか？



矢野

たとえば院内か院外処方か、とか。これは見にく

くもない。参考になるのは、どうしてこの処方になった、とかの流れがわかる。そういったところで薬のところもみえています。うちに入院して抗生物質を使った時に効かなかったのに、医療センターで別薬品にしたらすぐ効いた、などがわかる。これが参考になる。

黒石 浩一地域医療センター次長（事務局）

「くじらネット」では、カルテ画面をあけると時系列でそれぞれの行為がアイコン表示されます。お薬であれば、カプセルのマークがカレンダーのマトリックスの中に出てきますので、いつ薬が出たというのが分かります。ですので、特定の日「カプセルのマーク」をクリックすると薬の内容がわかります。このようにカルテの中から薬が見れますが、時系列で見たいという場合は薬歴のほうを見ていただいたほうがいいと思います。このような「くじらネット」表示は、院内医師も院内カルテから見るができます。



深田・西岡

それは知らなかった。我々も先生方がどのような画面を見ておられるのか、もっと知っておくべきですね。

渡邊 慶子局長（委員：栄養局長）



入院中の食事に関してですが、「くじらネット」では患者さん個々の栄養量、経口、経静脈からの、すべてを総合したものが栄養量としてトータルで見られるようになっています。カロリーなどの栄養状態も見るができます。栄養指導の報告書、栄養管理計画書もかなり細かい記載をしています。

楠目 雅彦局長（委員：医療技術局長）

お話ですと、先生方は「くじらネット」についていろいろなご意見をお持ちと思いますが、実際、利用率はまだまだ。利用環境は設定されているのに、どうして利用しないのかも含め、調査が必要だと思います。直接お話を聞くという事が今後の利用を促進していく上で非常に大事だと思います。



深田

今、楠目局長から、モニタリング、アンケートを、というご意見がありました。今使っている方、あるいはシステム設定は終わっているものの、まだあまり使われていない方を含め、もう一度、全体の声を広く聞くという事は、是非、やらねばならないと思いますね。

矢野

しかし、利用医に対してこれから登録してもらおうとする時に、パソコン・インターネットを使っていない先生もいるかもしれませんし、そういう場合はなかなか難しいのではないのでしょうか。

深田

ホームページを見てくれていますか、といったアンケートを地域医療連携通信「にじ」でもとりましても、8年前と現在で、あまり率は変わってないようです。

久

高知市医師会でも、患者紹介のツールを検討していますが、開業医で将来の電子化は現状では3割ぐらいに止まっている。だんだん増えるでしょうけど、いきなりというのはなかなか難しいのではないのでしょうか。

深田

今、助産師さんなど、医師以外の方々から使いたい、という要望がきています。このような、積極的に使いたい方に利用のチャンスを広げるのはどうでしょうか？セキュリティ等、色々な問題の確認が必要かとは思いますが…。

久

医療関係者などであればセキュリティは問題ない

のでは。そういう要望があるようなら、積極的に受け入れていくのもひとつの方法だと思います。ダメという理由はない。

深田

操作に慣れない方であれば、医療センターに来ていただいて操作を学んでいただく。カルテ自体の取り扱いも含め、医師・歯科医師の観点から見て問題が無いことが確認できれば、方向性としてはいいですよ。

西岡

今後、ウイルスソフトが切れたときなど、トラブルがおこった時にはどうなるのですか？

町田

利用医のお手元での情報管理は、基本的に利用医の先生の責任にはなっています。しかし、ある程度は医療センターでもサポートはしないとイケないと思っています。サポートが切れたウイルスソフト等についてはこちらでも把握しているので、こちらからの働きかけは必要になってくるかと思っています。

深田

そうしましたら、だいたいご意見もでてきたところだと思います。今日は最初ですので、だいたどんな風な意見、感想をもちながら見ていただいているのか知ることが出来たかと思います。そうしましたら今年度中に、先ほどご提案がありました、皆様の声を聞くというステップを一回やってみる、そしてその結果を踏まえて、少なくとも、今年中にもう一度、この会を開くということでもよろしいでしょうか。

それではそういうことで本日の会はこれで終わりにしたいと思います。お忙しい中、お時間をとっていただき、本当にありがとうございました。





マレーシア・サバ国立大学から 留学生を迎えて

文責・栄養局長 渡邊 慶子

マレーシアより 二人の留学生が当センターに

平成 23 年 3 月にマレーシアサバ国立大学の食品科学栄養学部長 Dr.Sharifudin Shaarani 先生が高知県立大学健康栄養学部に国際交流活動の準備のため来高されました。その際、日本の病院における管理栄養士の臨床活動に興味を持っておられるということで、当センターに見学を兼ねて寄っていただきました。

マレーシアには規模の大きな病院は数少なく、管理栄養士の配置も少ないのが現状とのことでした。Sharifudin 学部長は、当センターの各病棟フロアに管理栄養士を常駐させ、チーム医療による栄養管理体制を実践していることに非常に関心を持たれ、高知県立大学に留学生を派遣した時には是非、当センターで臨床実習をさせて欲しいと強く希望されました。そのような経緯と、高知医療センターと高知県立大学の包括的連携により、本年 6 月から約 2 ヶ月の予定で高知県立大学健康栄養学部に留学生 2 名が来学し、7 月 26 日から当センターで給食管理・栄養管理の臨床実習をすることになりました。

留学生のチェーリンさんこと Chan Vui Shuang(チャン・ブイ・シュワン)さんとゲレニスさんこと Leong Qian Xin(リオン・チェン・ジン)さんはサバ国立大学でとても優秀な学生さんとのことでした。英語、中国語、マレー語を基本とし、日本語は大学の授業にもあり勉強中ということでしたが、敬語も上手に使い礼儀正しいのには驚きました。また、中国語が堪能なことから、日本語の医学用語や専門用語が理解できますし、専門知識も十分あります。私達スタッフは初めての外国人学生の実習受け入れということで戸惑いましたが、彼女達の日本語力のおかげでスムーズに実習



産科のマタニティクラス集団栄養指導

が進んでいます。何よりも二人はとても明るく笑顔が素敵なので直ぐにスタッフに溶け込み、患者さんにも物怖じせず積極的に対応できています。

マレーシアは糖尿病、肥満者が多く食生活や運動習慣が社会問題となっているとのこと、糖尿病の治療や食事療法にとても興味を持っており、実際の栄養指導や、食事療法を熱心に学習しています。また、栄養サポートチームの活動にも関心を示し、医師や看護師、薬剤師等とのチーム医療に参加するなど、マレーシアでは経験できない多くのことを学習できると喜んでいました。今回、初めて外国からの留学生を指導することになり、英語の再勉強など栄養局スタッフにとってはとても良い刺激となっています。これを機に、今後継続してサバ国立大学と高知県立大学、高知医療センターの国際的な教育連携による交流ができればと願っています。

高知県立大学 健康栄養学部長の 和田安彦教授よりメッセージ

「給食、NST 活動、糖尿病の栄養指導、母子保健指導等を見学させていただき、充実した研修の日々を送っているようです。受け入れた我々も彼女らの勉強熱心さには驚嘆させられており、その意味で日本人学生の大きな刺激にもなっております。国家を背負ってやってきているということがひしひしと感じられますので、帰国後貴センターでの研修成果を国の発展に必ずや生かしてくれると確信しています。」



NSTカンファレンス
(後列左：ゲレニスさん、後列左から3番目：チェーリンさん)



2013年 高知医療センター 研修医キャンプ in 小豆島

研修医キャンプに行ってきました。8月17日(土)、18日(日)と毎年恒例である研修医キャンプに行ってきました。今年のキャンプ地は小豆島です。車で乗り合わせて向かいましたが、フェリーの時間も含めて片道3時間のなかなか道のりでした。

往路では、高松フェリー乗り場近くで、さぬきうどんを食べました。小豆島ではまず海水浴場へ、海場で戯れバナナボートもついでに堪能してきました。しっかり遊んだ後は、山の上にある貸別荘へ移動し、バーベキューです！お酒と一緒に焼き肉をしっかりと楽しみました。その後は周りが静かで空気の気持ちいい貸別荘内で夜遅くまでゲームをしたりして飲み明かしました。

朝はゆっくり起きて、小豆島で有名なオリーブ園を巡って、その後は素麺工場の見学+実食へ！しっかりと楽しんで帰宅の路に着きました。普段は1、2年でもしっかりと交流することもなかなかないですが、いろいろなことを話したり仲良くなるチャンスに恵まれたりしてとても良い2日間となりました。(文責：研修医 駒越 翔)



毎年7月末～8月初めの土日で、2年目と1年目の研修医がみんなでキャンプに出掛けます。



日	曜	高知医療センター イベント情報 9月～					
6	金	第5回高知医療センター 日本集中治療学会認定集中治療専門医養成セミナー (参加費不要、事前申込不要)					
		内容	小児麻酔・集中治療のすすめ	講師	自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座教授 兼とちぎ子ども医療センター小児手術・集中治療部教授 竹内 護氏		
		場所	高知医療センター 2F くらしおホール	時間	19:00～20:00	対象	医療関係者
お問い合わせ：高知医療センター・集中治療科（難波） TEL：088（837）3000（代）							
8	日	高知医療センター 看護局集合研修 他施設公開研修プログラム (事前申込要)					
		研修名	アサーティブ・コミュニケーション	講師	えな・ヒューマンサポート 森川 早苗氏（臨床心理士）		
		場所	高知医療センター 1F 研修室3	時間	9:00～16:00		
お問い合わせ：高知医療センター・看護局 教育担当 申込先 FAX：088（837）6766							
13	金	高知医療センター 看護局集合研修 他施設公開研修プログラム (事前申込要)					
		研修名	放射線療法を受ける患者の看護（基本的看護）	講師	がん研有明病院 がん看護専門看護師 後藤 志保氏		
		場所	高知医療センター 1F 研修室2,3	時間	18:00～19:30		
お問い合わせ：高知医療センター・看護局 教育担当 申込先 FAX：088（837）6766							
14	土	小児科医が知っておきたい臨床遺伝学 vol.1 (参加費不要、事前申込不要)					
		内容	体つきに特徴のある子をみたときの 考え方・伝え方	講師	都立小児総合医療センター 臨床遺伝科 吉橋 博史氏		
		場所	高知医療センター 2F くらしおホール	座長	高知医療センター 小児科 西内 律雄氏	時間	15:00～17:00
お問い合わせ：高知医療センター・小児科（丸山） TEL：088（837）3000（代）							
18	水	高知医療センター 看護局集合研修 他施設公開研修プログラム (事前申込要)					
		研修名	怒り・攻撃性の高い患者の看護	講師	海辺の杜ホスピタル 福田 亜紀氏		
		場所	高知医療センター 1F 研修室1,2	時間	18:00～19:30		
お問い合わせ：高知医療センター・看護局 教育担当5 申込先 FAX：088（837）6766							
28	土	第30回地域医療連携研修会 (参加費不要、事前申込不要)					
		内容	演題①頻尿の話	講師	高知医療センター 泌尿器科 新 良治氏		
		内容	演題②こんな経験ありませんか？	講師	高知医療センター 皮膚・排泄ケア認定看護師 本山 舞氏		
場所	高知医療センター 2F くらしおホール	時間	14:00～15:40	対象	医療従事者、一般		
お問い合わせ：高知医療センター・地域医療連携室（井上・早瀬）							

※時間等、変更になる場合もございますのでご了承ください。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

ております。

編集後記

赴任して以来、事務局で経営企画を担当させていただいております。高知医療センターは、高度な急性期医療を提供する一方で、公立病院として地域全体の不足機能を補うべく、地域との連携のみならず自ら不足機能を担う病院として、皆さまの要請に不安なく応えていくためにも、中長期的な経営の安定が欠かせません。このため、今年度から平成27年度までを計画期間とした「新中期計画」を策定し、県内の医療の期待に応える機能を発揮することができるよう、多方面からの取り組みを行っております。今後もより確実に安定的な経営を確保するための下支えができるよう、がんばって参りますので、どうぞよろしく申し上げます。（事務局経営企画課 H・K）



平成25年9月1日発行
にじ 9月号（第95号）
責任者：武田 明雄
編集人：地域医療連携広報委員
特別編集委員
発行元：地域医療センター
地域医療連携本部
印刷：株式会社高陽堂印刷
高知県・高知市病院企業団立
高知医療センター
〒781-8555 高知県高知市池2125-1
TEL：088（837）3000（代）

広報誌「にじ」に関するご要望・ご意見をお寄せください。renkei@khsc.or.jp
Kochi Health Sciences Center Home Page : <http://www.khsc.or.jp/>